

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会

塩 尻 市 実 行 委 員 会 設 立 発 起 人 会



正 式 競 技
銃 剣 道



正 式 競 技
バドミントン



デモンストレーション
スポーツウエルネス吹矢

行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

日 時 令和7年2月19日（水）午後3時～

場 所 塩尻市役所3階 庁議

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会
塩尻市実行委員会設立発起人会 次第

期 日：令和 7 年 2 月 1 9 日（水）

時 間：午後 3 時～

場 所：塩尻市役所 3 階 庁議室

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 塩尻市実行委員会設立発起人会について
- 4 発起人紹介
- 5 大会の概要等について
 - (1) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要
 - (2) 塩尻市開催競技及び開催施設
 - (3) これまでの準備経過
 - (4) 大会開催に向けたスケジュール
 - (5) 大会開催準備組織図
- 6 発起人代表選出について
- 7 塩尻市実行委員会設立趣意書（案）について
- 8 実行委員会への提案事項について
 - (1) 塩尻市実行委員会会則（案）
 - (2) 塩尻市実行委員会委員等の選出（案）
- 9 閉会

※閉会后、記念撮影を行います。

目 次

塩尻市実行委員会設立発起人会について	1
塩尻市実行委員会設立発起人会発起人名簿	1
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2
塩尻市開催競技及び開催施設	8
これまでの準備経過	9
大会準備に向けたスケジュール	10
大会実行委員会及び専門委員会組織のイメージ	11
塩尻市実行委員会設立趣意書（案）	12
塩尻市実行委員会会則（案）	13
塩尻市実行委員会委員の選出について（案）	17

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会の概要

1 沿革・歴史

戦後の荒廃と混乱の中、スポーツを通して国民に勇気と希望を与えるため、昭和 21 年（1946 年）に戦災を免れた京都を中心とした京阪神地域において、国民体育大会の第 1 回大会が開催されました。その後、天皇杯・皇后杯の授与・都道府県対抗・都道府県持ち回り方式が確立され、昭和 62 年（1987 年）第 42 回大会（沖縄県）で全国を一巡し、現在は二巡目に入っています。

令和 10 年（2028 年）の開催予定の長野県大会は、82 回を迎え、長野県での開催は昭和 53 年（1978 年）の第 33 回大会「やまびこ国体」以来、2 回目の開催となります。

（これまでの国民体育大会の開催順）

昭和 21 京都等	昭和 22 石 川	昭和 23 福 岡	昭和 24 東 京	昭和 25 愛 知	昭和 26 広 島	昭和 27 福島等	昭和 28 福島等
昭和 29 北海道	昭和 30 神奈川	昭和 31 兵 庫	昭和 32 静 岡	昭和 33 富 山	昭和 34 東 京	昭和 35 熊 本	昭和 36 秋 田
昭和 37 岡 山	昭和 38 山 口	昭和 39 新 潟	昭和 40 岐 阜	昭和 41 大 分	昭和 42 埼 玉	昭和 43 福 井	昭和 44 長 崎
昭和 45 岩 手	昭和 46 和歌山	昭和 47 鹿児島	昭和 48 沖縄/千葉	昭和 49 茨 木	昭和 50 三 重	昭和 51 佐 賀	昭和 52 青 森
昭和 53 長 野	昭和 54 宮 崎	昭和 55 栃 木	昭和 56 滋 賀	昭和 57 島 根	昭和 58 群 馬	昭和 59 奈 良	昭和 60 鳥 取
昭和 61 山 梨	昭和 62 沖 縄	昭和 63 京 都	平成元 北海道	平成 2 福 岡	平成 3 石 川	平成 4 山 形	平成 5 徳島等
平成 6 愛 知	平成 7 福 島	平成 8 広 島	平成 9 大 阪	平成 10 神奈川	平成 11 熊 本	平成 12 富 山	平成 13 宮 城
平成 14 高 知	平成 15 静 岡	平成 16 埼 玉	平成 17 岡 山	平成 18 兵 庫	平成 19 秋 田	平成 20 大 分	平成 21 新 潟
平成 22 千 葉	平成 23 山 口	平成 24 岐 阜	平成 25 東 京	平成 26 長 崎	平成 27 和歌山	平成 28 岩 手	平成 29 愛 媛
平成 30 福 井	令和元 茨 木	令和 2 —	令和 3 —	令和 4 栃 木	令和 5 鹿児島	令和 6 佐 賀	令和 7 滋 賀
令和 8 青 森	令和 9 宮 崎	令和 10 長 野	令和 11 群 馬				

2 大会概要

本大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。大会には「正式競技」をはじめ、「特別競技」「公開競技」「デモンストレーションスポーツ」があります。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が、競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として、毎年開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。大会には「正式競技」と「オープン競技」があります。

注：国民体育大会は令和 6 年に佐賀県で開催された第 78 回大会以降、「国民スポーツ大会」に改称され、略称も「国体」から「国スポ」になりました。

3 主 催

・国民スポーツ大会

大 会：公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県の 3 者

協議会：上記に公益財団法人日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村を加えた 5 者

・全国障害者スポーツ大会

公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県、市町村、その他の関係団体

4 開催時期

・国民スポーツ大会：令和 10 年 9 月中旬～10 月中旬

開催期間：11 日間以内

・全国障害者スポーツ大会 開催期間：原則として国スポの直後 3 日間

※会期については開催 3 年前（令和 7 年）に決定

- 5 愛称・スローガン・マスコットキャラクター・ロゴデザイン
・愛称

信州やまなみ国スポ

日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へとつながる大会を目指します。

- ・スローガン

行こう。それぞれの頂へ。

頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の思い描く頂（いただき）を目指す様子をイメージしています。

- ・マスコットキャラクター



- ・ロゴデザイン

行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

6 実施予定競技

第 82 回国民スポーツ大会における実施予定競技

区 分	競 技 名
正式競技（40 競技） 都道府県対抗で実施され、全正式競技の合計得点により、男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯が、女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯が授与される。	【本大会】 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン 【冬季大会】 スキー、スケート、アイスホッケー
特別競技（1 競技）	高等学校野球
公開競技（8 競技） 競技の普及をはじめ、国民のスポーツ振興を図り、生涯スポーツ社会の実現に寄与するため、正式競技以外に、全国レベルの大会の規模で実施する競技。	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ ダンススポーツ
デモンストレーションスポーツ 地方スポーツの推進を図るため、生涯スポーツ社会の実現に寄与するという観点から、正式競技及び公開競技以外に、県内に居住している者を対象として実施する競技。	マレットゴルフ 少林寺拳法 スポーツウエルネス吹矢 チャレンジフェスティバル～小中学生のためのスポーツ体験交流会～ スマートフェンシング 森林セラピー

第 27 回全国障害者スポーツ大会における実施予定競技

区 分		競 技 名
正式競技（14 競技） 「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定められた個人競技及び団体競技で、団体競技は都道府県・指定都市対抗で実施される。	個人競技 （7 競技）	陸上競技（身体・知的） 水泳（身体・知的） アーチェリー（身体） 卓球（身体・知的・精神） フライングディスク（身体・知的） ボウリング（知的） ボッチャ（身体）
	団体競技 （7 競技）	バスケットボール（知的） 車いすバスケットボール（身体） ソフトボール（知的） グランドソフトボール（身体） フットソフトボール（知的） バレーボール（身体・知的・精神） サッカー（知的）
オープン競技 広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについて、あらかじめ主催者間で協議し実施する競技。		高等学校野球

信州やまなみ国スポ・全障スポ

競技会場地市町村



長野県キャラクター「アルケム」
©長野県アルケム

◆国スポ	正式競技（本大会）	: 37競技/28市町村・県外1市町
●国スポ	正式競技（冬季大会）	: 3競技/5市町村
▲国スポ	公開競技	: 8競技/7市町村
▼国スポ	デモンストラレーションスポーツ	: 6競技/6市町村
■国スポ	特別競技	: 1競技/2市町村
◇全障スポ	正式競技	: 個人7競技・団体7競技/9市町村

長野市
◆水泳 (競泳、飛込、水球、AS)
◆サッカー
◆体操(競技)
◆バスケットボール
◆ライフル射撃(CP)
◆ボウリング
●スケート (スピード、フィギュア)
■高等学校野球(硬式)
◇水泳
◇ボウリング
◇バスケットボール
◇車いすバスケットボール
安曇野市
◆バレーボール(6人制)
◆ウェイトリフティング
▲ダンススポーツ
◇バレーボール(身体)
松本市
【総合開・閉会式】
◆陸上競技
◆サッカー
◆テニス
◆バレーボール(6人制)
◆自転車(トラック)
◆軟式野球
◆なぎなた
▲ゲートボール
▲エアロビク
◇陸上競技
◇バレーボール(知的)
◇サッカー
塩尻市
◆バドミントン
◆銃剣道
▼スポーツウェルネス吹矢
辰野町
◆クレ射撃
木曽町
◆相撲
箕輪町
◆フェンシング
▼スマートフェンシング
駒ヶ根市
◆ホッケー
飯島町
◆ホッケー
松川町
▼森林セラピー
阿智村
▼チャレンジフェスティバル

信濃町	◆水泳(OBS)
中野市	◆剣道
飯山市	◆カヌー(スプリント) ●スキー
山ノ内町	▲スポーツチャンバラ
須坂市	◆体操(トランポリン)
千曲市	◆体操(新体操) ◆ハンドボール ◇ボッチャ
上田市	◆ハンドボール ◆ソフトテニス ◆軟式野球 ◆ラグビーフットボール
東御市	◆ボクシング ◆ハンドボール
軽井沢町	◆ゴルフ ●アイスホッケー ▲バウンドテニス
小諸市	◆レスリング
佐久市	◆軟式野球 ◆柔道 ◆アーチェリー ◆空手道 ▲武術太極拳 ▼少林寺拳法 ◇アーチェリー
南牧村	●スケート (ショートトラック)
茅野市	◆軟式野球 ◇フライングディスク
下諏訪町	◆ローイング ◆トライアスロン
岡谷市	◆卓球 ◆トライアスロン ●アイスホッケー ▲綱引 ◇卓球
県外開催 福井県福井市	◆ライフル射撃(CP以外)
伊那市	◆ソフトボール ◇ソフトボール ◇グランドソフトボール ◇フットソフトボール
高森町	◆バレーボール (ビーチバレーボール) ◆カヌー (スラローム、ワイルドウォーター)
飯田市	◆弓道 ■高等学校野球(軟式)
諏訪市	◆セーリング ◆軟式野球 ◆トライアスロン
富士見町	◆自転車(ロード)
茅野市	◆軟式野球 ◇フライングディスク
下諏訪町	◆ローイング ◆トライアスロン
岡谷市	◆卓球 ◆トライアスロン ●アイスホッケー ▲綱引 ◇卓球
県外開催 福井県福井市	◆ライフル射撃(CP以外)

塩尻市開催競技及び開催施設

国民スポーツ大会 3 競技

区 分	競技名	種 別	開催施設
正式競技	バドミントン 	全種別	塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)
	銃剣道 	全種別	
デモンストレーション大会	スポーツウエルネス吹矢 		

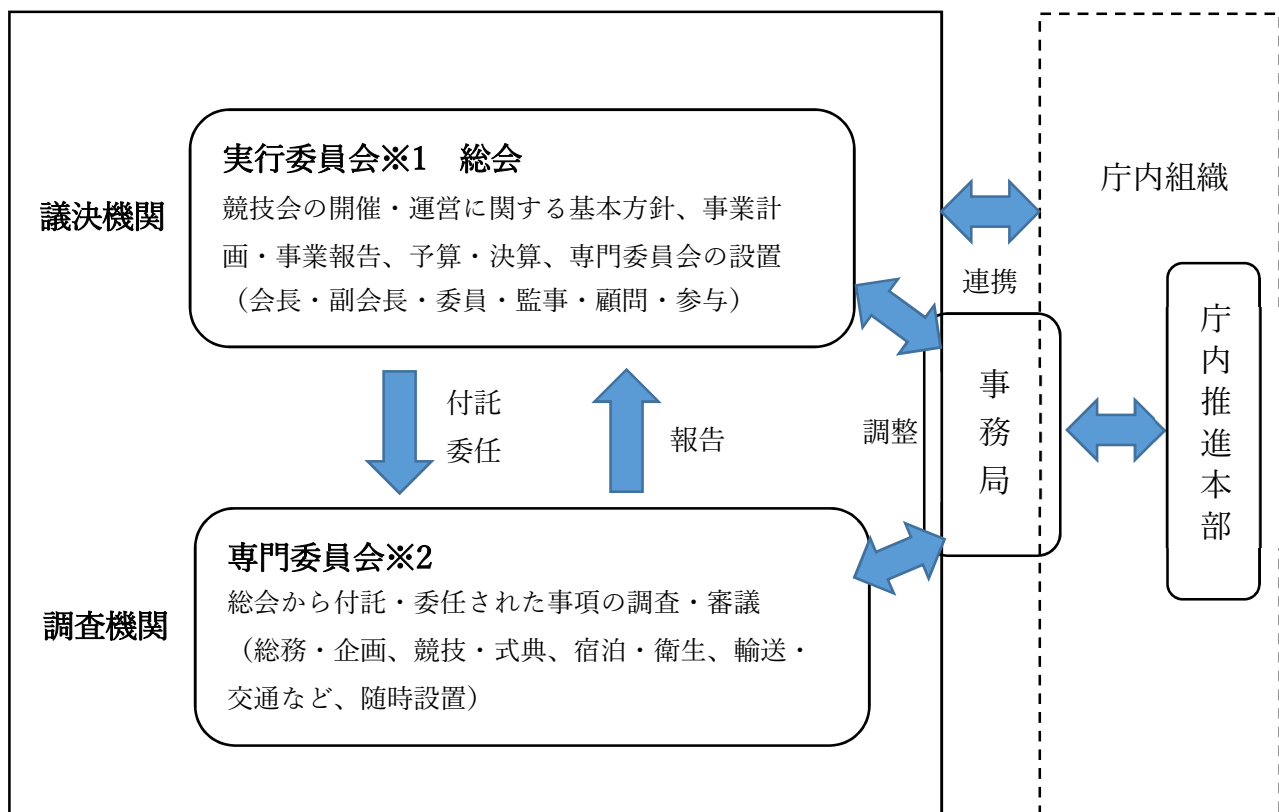
これまでの準備経過

年	月	内 容
平成28年	6 月	(公財)長野県体育協会が、2 巡目国体誘致要望書を長野県知事、長野県議会議長及び長野県教育委員会あてに提出
平成29年	2 月	長野県議会の知事議案説明において、「国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を2027年に長野県に誘致するべく取り組む」ことを表明
	3 月	長野県議会において、第82回国民体育大会及び第27回全国障がい者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
	5 月	長野県知事、長野県教育長、(公財)長野県体育協会専務理事、(公財)長野県障がい者スポーツ協会常務理事が文部科学大臣あてに、第82回国民体育大会(本大会及び冬季大会)及び第27回全国障害者スポーツ大会開催要望書を提出
		長野県知事、長野県教育長、(公財)長野県体育協会専務理事が(公財)日本体育協会会長あてに、第82回国民体育大会(本大会及び冬季大会)開催用要望書を提出
	7 月	(公財)日本体育協会理事会において、長野県を2027年開催の第82回国民体育大会(本大会及び冬季大会)の開催申請書提出県として了承(開催内々定)
	12月	第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会総会・第1回総会を開催
平成30年	7 月	第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会市町村競技開催希望調査表を提出(卓球・バドミントン・バレーボール)
令和元年	7 月	長野県準備委員会から競技会場地の内定通知 ・バドミントン(全種別):塩尻市総合体育館(ユメックスアリーナ) ・銃剣道(全種別):塩尻市新体育館(ユメックスアリーナ)
令和2年	10月	(公財)日本スポーツ協会から、長野県を令和10年(2028年)開催の第82回国民スポーツ大会(本大会及び冬季大会)の開催申請書提出県として決定通知(1年延期し令和10年開催に変更)
	12月	長野県準備委員会が名称を「第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」から「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」に改称
令和4年	9 月	中央競技団体正規視察(銃剣道)
令和5年	1 月	中央競技団体正規視察(バドミントン)
	7 月	(公財)日本スポーツ協会の理事会において、第82回国民スポーツ大会(冬季大会・本大会)の開催地として長野県が内定
	9 月	栃木県大田原市へ先催県視察(個別視察:バドミントン) 栃木県壬生町へ先催県視察(個別視察:銃剣道)
	12月	鹿児島県指宿市へ先催県視察(事業概要説明会:バドミントン)
令和6年	10月	佐賀県唐津市へ先催県視察(本大会:バドミントン)
	11月	滋賀県大津市へ先催県視察(リハーサル大会:バドミントン)
令和7年	2 月	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会塩尻市実行委員会設立 発起人会を開催

大会開催に向けたスケジュール

年 度	主要日程	塩尻市の準備組織 (実行委員会)	塩尻市 (庁内組織)
令和5年度 (5年前) 鹿児島県 特別大会	開催内定		スポーツ推進係に 担当配置(兼務)
令和6年度 (4年前) 佐賀県 78回国スポ 23回全障スポ		発起人会発足	
令和7年度 (3年前) 滋賀県 79回国スポ 24回全障スポ	会場地総合視察 (日本スポーツ協会・文科)	開催決定・会期決定 実行委員会設置	国民スポーツ大会 推進室設置(予定) 人員拡大 庁内推進本 部の設置
令和8年度 (2年前) 青森県 80回国スポ 25回全障スポ		実行委員会総会 各専門委員会 (随時開催)	
令和9年度 (1年前) 81回国スポ 26回全障スポ		リハーサル大会(プレ大会)開催	
令和10年度 (開催年) 長野県 82回国スポ 27回全障スポ		第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催 実行委員会解散	

大会実行委員会及び専門委員会組織のイメージ



【 ※1 実行委員会 総会とは 】

総会は年1回以上開催し、前年度の事業・決算報告及び当該年度の事業計画（案）・予算（案）を諮るとともに、基本方針・実施目標の策定や専門委員会への委任事項、会則の改廃等の事項について審議・決定をする組織となります。

【 ※2 専門委員会とは 】

実行委員会専門員会は、実行委員会総会から付託・委任された専門事項について調査・審議し、総会に報告する組織となります。専門委員会を設置することにより、よりきめ細やかな事業計画や関連機関との連携、調整が図りやすくなり、大会の円滑な運営に寄与します。

【令和7年度 今後のスケジュール（予定）】

- 2月 実行委員会発起人会
- 7月 会期決定
- 8月 実行委員会設立総会・第1回総会
- 9月 第1回専門委員会
- 10月～12月 先催地視察
- 2月 第2回専門委員会
- 3月 第2回総会

【令和8年度以降のスケジュール（予定）】

- 4月 専門委員会
- 5月 実行委員会総会
- 10月～12月 先催地視察
- 2月 専門委員会
- 3月 実行委員会総会

※専門委員会は随時、必要に応じて開催